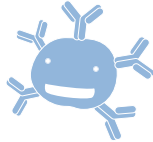



平成25年度 Extra 応用動物科学セミナー

疾患と免疫制御

免疫応答は病原体の侵入など外的要因から身を守るだけでなく、生体内の恒常性維持など様々な場面で活躍する。しかしながら、炎症反応などは諸刃の剣であり、免疫バランスの異常はそれ自体が疾病へとつながる。つまり、寄生適応や恒常性維持には「生体」と「異物」が互いを熟知する必要があるといえる。本講義では、「生体」が「異物」とのクロストークに用いる「免疫」について、感染症やがん、自己免疫疾患といった様々な角度からアプローチする若手研究者を講師に迎え、最新の研究を紹介する。

- | | | |
|-------------|---|---|
| 13:00-13:10 | はじめに
松本 芳嗣 (東京大学・大学院農学生命科学研究科・応用免疫学) | |
| 13:10-14:00 | トキソプラズマと宿主との免疫学的相互作用解析
山本 雅裕 (大阪大学・微生物病研究所・感染病態) |  |
| 14:00-14:50 | リーシュマニア原虫の抗原学
後藤 康之 (東京大学・大学院農学生命科学研究科・応用免疫学) | |
| 14:50-15:00 | 休憩 | |
| 15:00-15:50 | 癌と肥満細胞
村田 幸久 (東京大学・大学院農学生命科学研究科・放射線動物科学) |  |
| 15:50-16:40 | CD8T細胞の生体内での恒常性維持機構
瀬戸口 留可 (京都大学・次世代免疫を目指す創薬医学融合拠点・創薬研究グループ) | |
| 16:40-17:30 | 制御性T細胞による免疫制御
堀 昌平 (理化学研究所・統合生命医科学研究センター・免疫恒常性研究チーム) | |

● 6月14日(金) 13:00 ~ 17:30 弥生講堂一条ホール

● 本講演は獣医学専攻大学院講義「獣医学特論」として開講されますが、受講者以外にも広く公開するものです。動物科学のフロンティアの講義としてはカウントしません。

● 問い合わせ先:

応用動物科学専攻 応用免疫学研究室
後藤 康之 准教授

☎ 03-5841-7569 ✉ aygoto@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp